

運営委員会だより

No.3

令和7年3月吉日

昭和中学校 P T A
会長 金井 洋子

令和7年3月8日（土）、P T A会議室にて第3回運営委員会を行いましたのでご報告いたします。

1. はじめに

令和6年度 第3回 運営委員会を開催いたします。

今年度のP T Aは、縮小方向での活動で、皆様に沢山のご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。
本日は、会則改正案・次年度予算案の議案があるため、次年度本部役員候補の方にも出席いただきました。

2. 活動報告

本部

【本部活動】

- ・ 12月18日 令和7年度スキー教室業者選定に出席
- ・ 2月19日 第3回P T A本部定例会の開催

【渉外活動】

- ・ 2月12日 あきしま街並みクリーンアクション委員会に出席
- ・ 2月28日 市中P第三回理事会に出席

【その他】

- ・ 体育館スクリーン購入：506,503 円
(内訳：スクリーン代 317,600 円＋設置費 184,800 円＋延長コード 4,103 円)
- ・ 体育祭用パラソル・テント購入：19,447 円
(内訳：パラソル・テント 14,048 円＋スタンド 3,800 円＋ケース 1,599 円)

- 1組委員会 ・ 3月 3日 保護者会後に茶話会実施

- 1学年委員会 ・ 令和七年度入学式ボランティアさんへの手紙の作成（2月初旬）
対象人数が少なかったため、学校の方で印刷、配布をしていただきました。
- ・ 1学年保護者会
今年度は学年委員による茶話会、親睦会は計画せず。
3学期保護者会にて、担任の先生方主催で保護者懇親会予定。

- 2学年委員会 ・ 茶話会の運営
- ・ 卒業式ボランティアさんへお手紙配布

3 学年委員会

- ・ 1 2 月 8 日 記念品タオルデザイン案修正・確認事項の送信
- ・ 1 2 月 9 日 デザイン確定
- ・ 1 月 2 2 日 菅原先生から球技大会開催の方向で連絡を受ける
- ・ 2 月 5 日 球技大会日程決定

当日借りる備品についての依頼

- ・ 2 月 1 6 日 ソープフラワー発注
- ・ 2 月 2 6 日 記念品着

※今後の予定

- ・ 学年主催球技大会保護者観戦のお知らせ配信（まなびポケット・メール）
- ・ 3 月 1 3 日 午前 学年主催球技大会保護者観戦
- 午後 記念品搬入・仕分け
- ・ 3 月 1 8 日 卒業生と先生へ記念品贈呈

制服リユース担当

- ・ 1 月 1 3 日 新入生譲渡会中止（校舎工事の為）

※今後の予定

- ・ 卒業生に制服リユース提供の依頼を行う。

広報委員会 次年度への引き継ぎ資料作成中

文化厚生委員会 次年度への引き継ぎ資料作成中

選考委員会

- ・ P T A 役員候補者への電話対応・役員内定通知書配布ほか
- 1 2 月 : 2 回
- 1 月 : 4 回
- 2 月 : 3 回
- ・ P T A 役員再募集（選考委員 5 名）
- 公示 : 2 月 1 7 日
- 締切 : 2 月 2 7 日

活動報告に対する質疑応答：

<質問>

今年度活動をしてみて、各委員会・担当の人数の妥当性に関して、どのように感じたか。

<回答>

1 組委員会

1 名だと相談できないので、2 名いれば活動できると思う。

1 組は日誌があり、担当の先生と日誌でやり取りをすることができた。

1 学年委員会

活動内容からすると、3 名いれば間に合うとは思いますが、それぞれ仕事を持っているため、5 名で手分けして活動することができた。

2 学年委員会

今回、3 名だったが、ちょうどよかったと思う。

3 学年委員会

次年度卒対に支給される金額で、卒業記念品が配れるのかどうかによるところがあると思う。卒業記念品が配れないのであれば卒対（3 学年委員）自体、不要かもしれない。

制服リユース担当

学校工事の関係で、今年度あまり活動ができなかったのも、譲渡会のイメージが分からず、どのくらいの人数が必要なのか判断ができない。

広報委員会

パソコン出来る人 1 名・相談役 1 名で、2 名いれば活動可能かと思う。

文化厚生委員会

5 名で活動したが、活動内容的には 3 名でも活動可能かと思う。

選考委員会

昨年は 6 名・今年は 4 名で活動しており、4 名でも活動は可能かと思う。

<質問>

広報委員会は、広報をデジタルで行ってみてどうだったか。パソコンができないと困るか。

<回答>

デジタル化したことで、かなり手間が削減できた。

アンケートも GoogleForm で実施し、学校側の手間も削減できた。

P T A だよりは定型フォームがなく、自由に作成しているので、パソコンができなくても、手書きが出来るのであれば手書きでも。自由にできると思う。

<質問>

選考委員から、令和 7 年度の本部役員選出について連絡事項はあるか。

<回答>

会則では会計 4 名（保護者 3 名・教員 1 名）だが、令和 7 年度は、保護者 4 名の立候補があったため、保護者 4 名・教員 1 名の計 5 名体制の予定。

<質問>

会則では、本部会計は保護者 3 名との記載があるが、令和 7 年度の会計候補が保護者 4 名ということに対して本部の見解はどうか。

<回答>

候補の方がいるのはありがたいので、問題ない。会計候補保護者 4 名で、総会の議案として挙げる。

<質問>

茶話会をされた1組委員と2学年委員に質問だが、1学期の開催だと、参加率も高く、どの生徒の親なのか分かり、良いのかと思っていたが、3学期に開催されたのはなぜか。

<回答>

1組委員会

コロナ禍は開催できていなかったが、例年、1学期末に卒業生が入学した支援学校の話の伺いあり、その後、茶話会を設けていたが、今年度は、先生と都合が合わなかったり、忙しかつたりで、1・2学期の開催できなかった。先生と相談し、3学期の保護者会の際の開催となった。

2学年委員会

前年度と同じ時期というのと、受験生になる前の情報収集がしやすい時期ということで、3学期開催とした。

<質問>

茶話会はどのような内容でされたか。

<回答>

1組委員会

保護者7名・先生7名の参加者で、進路や、学校と家それぞれでの様子等の話をした。

2学年委員会

参加者は、2組15名・3組12名・4組12名・教職員6名の計45名で、3学年に向けて、受験・塾・習い事、兄弟・家族の話などの話をした。

「時間が足りなかった。」「もっと話したかった。」との意見が多かった。

議題は事前にアンケートを行い、進行は担任の先生にお願いし、少人数の班で茶話会を実施。各クラスお手伝いの協力依頼を行い、参加者に準備を手伝っていただいた。

<質問>

お菓子を配らず、茶話会という形式をとらないのであれば、体育館の全体会の後に、教室に移動し、担任の先生に、懇談会の開催をお願いする形にするなどして、2学年委員は、体育祭・卒業式のボランティア担当という形がよいのか。どのように、引継ぎをすればよいのか、迷ってしまう。

<回答>

今年度のはじめに、茶話会を開催する・しないは、学年委員で検討していただければという話をさせていただいた。予算をできるだけ削減していたため、金額の話し合いを行い、予算を追加して茶話会を開催することになったと思うが、同じ形で、引き継いでいただいいてよいと思う。次年度、同じように、茶話会を開催する・しない、する場合、お菓子を配る・配らない、予算は足りるのか・足りないのか、学年委員で検討いただき、本部に相談していただければと思う。

3. 議題

本部金井会長より：

今回、予算案・会則の改正案を作成しておりますが、P T Aの本質・基本的な考えは変えていません。

これまでの運営委員会で皆様と様々な討論をし、意見を頂き、今のP T Aの理念をご理解いただいたものと思います。

今年度P T Aは

- ・加入／非加入の意思表示を受け入れること。
- ・活動のスリム化を模索すること。
- ・生徒を差別しないこと

を軸として活動して参りました。

本部役員・委員に関しては、くじ引きなく、立候補やお声がけなどで、前向きに活動していただける皆様に構成できました。ご苦勞もあつたかと思いますが、この転換期に皆で考え、同じ方向を向いて活動できたかと思います。

同じように市内の小中学校でも、P T Aの休止・解体・事務局といった転換期を迎えています。

小学校：13校のうち、5校がP T Aの休止・解体。

中学校：6校のうち、2校が事務局化、2校が縮小、1校が縮小を視野に入れている。

6校のうち、4校は入会の意思確認を行っている。

昭島市内でもP T Aの活動が変わってきている状況です。

先日、令和7年度昭和中のP T Aは、どのようにしていくか、来年度会長・副会長候補と話し合いを行いました。次年度も、軸は変えずに進めていくという形で、会則改正案・予算案を作成しました。

この運営委員会で皆様のご意見をお聞きして、5月の総会に議案として提案します。

皆様のご意見は、今年度運営委員会メンバーとしてではなく、1会員としての貴重なものとなりますので、どうぞ忌憚のないご意見を頂けますようお願いいたします。

(1) 会則改正について

資料：R6年度 会則改正案における新旧対照表.pdf

本部鶴田副会長より：

会則改正案を提案いたします。

<理由>

会則は8年前、コロナ禍前である平成29年の改正を最後に長年据え置かれて運営されてきた。

年度ごとに特別措置として対応、運営してきたが、現在のP T Aのあり方とミスマッチな箇所だけでも会則改正に踏み切りたい。

<ベース>

- ① P T Aの存続
- ② 任意団体であることをふまえ、P T A加入・非加入の意思表示を受け入れる
- ③ 会員の負担を削減
会費の減額、活動のスリム化
「できる人ができる範囲で」
- ④ P T A会員は保護者・教職員であり、在生徒はP T A会員ではない
世帯の加入・非加入にかかわらず、生徒は差別されない

<方針>

- ・今後も必須としない活動記述をなくす、子供たちがその活動で基本差別されないことを明記する(第三章)
- ・加入非加入の選択により、在校生保護者全員が会員対象でなくなるため、それに見合わない記述をなくす(第四章、五章、細則第二条、三条)
- ・会費の額を明記せず、年度ごと会員予定数や活動予定によって設定できるように(第九章)
- ・記述整理(第七・八章)

<改正点>

【P T A会則】

□第三章 活動〈変更〉

第三条〈変更〉



第三章 活動方針

第三条 この会は教育を本旨とする民主的かつ自主的な団体として、生徒の健全な育成や福祉のため、またこの会の会員相互の親睦理解および福利厚生のために活動する。

目的達成のため、次の方針に基づき活動を行う。

- 1.学校の教育活動の助成に協力するが、学校の教育方針や経営管理には干渉しない。
- 2.目的を同じくする地域の機関や団体と連携しその事業に協力する。
- 3.この会および会員は、この会の名で、営利的、宗教的、政治的、その他
この会の目的以外の活動に一切関与しない。
- 4.この学校に在籍するすべての生徒は、保護者がこの会の会員であるか否かにかかわらず、活動の成果を享受することができる。

□第四章 会員

第四条〈変更〉



第四条 この会の会員となることができる者は次のとおりとする。

- 1.昭和中学校に在籍する生徒の保護者
- 2.昭和中学校に勤務する教職員

□第五章 委員会の構成および任務

第五条〈変更〉



第五条 各委員会は、会員である保護者、教職員によって構成される(役員、会計監査および選考委員は除く)。

第六条 4.生活委員会〈削除〉

□第七章

第十五条〈一部削除〉



『保護者等』を『保護者』に変更

□第八章

第二十一条〈一部削除〉



『保護者等』を『保護者』に変更

□第九章

第二十五条〈変更〉



第二十五条 この会の経費は会費その他をもってあてる。会費はその年度ごとに総会の承認を得て決定する。

【PTA会則施行細則】

□ 第二条→削除

以降、条項数字繰上げ

□第三条

1.から 3.すべての『学級ごとに』を削除

4. (生活委員会の記載) を削除

1 組委員会の『委員 2 名』を『若干名』

【組織図】

- ・生活委員会を削除
- ・ボランティアを集約、本部もボランティアにつなげる

会則改正に対するご意見・質疑応答：

<質問>

第三条の「1.学校の教育活動の助成に協力するが、学校の教育方針や経営管理には干渉しない。」が新たに付け加えられた背景を教えてください。

P T A、親の立場として、教育方針に問題があると感じたら、積極的に関与すべきだと思うので、「教育方針や経営管理には干渉しない」という部分は削除していただきたい。

<回答>

元々、第三条は、学校の施設設備充実に関する記載があったが、学校とは、協力する必要があるが、設備の充実がP T Aの本旨ではないと考え、設備充実の記載は削除した。また、学校の助成には協力するが、学校側の事情でP T Aからの希望に沿えない部分は、P T Aが譲歩し踏み込まないということで「学校の教育方針や経営管理には干渉しない」という形を考えた。
ご意見お預かりして、検討する。

<質問>

組織形態に関して、制服リユースも委員と同様に募集があるが、ボランティアの枠に入っているのはなぜか。改正後、扱いが変わるのか。

<回答>

制服リユースは、委員会ではないので、組織形態では、ボランティアにまとめているが、改正後も扱いは変更しない。

<質問>

組織形態の下「※運営委員会とは」の部分で、「（会計監査・選考は除く）」という文言があるが、選考委員は運営委員会に含まれないのか。

<回答>

選考委員会は、独立した組織ということで、組織図上では、運営委員会から外れているが、P T Aの活動を理解いただくという意味で、運営委員会には参加いただきたい。文言の変更を検討する。

<質問>

次年度の選考委員候補が出ていない状況だが、会則で選考委員 6 名となっているが、必要なのか。

<回答>

選考委員の活動内容としては、P T A本部役員・選考委員の募集をかけ、好感触の方に電話連絡を取り、決まれば内定通知、決まらなければ再募集を行う。再募集でも決まらない場合は、くじ引きで選出する。昨年は 6 名・今年は 4 名で活動しており、4 名でも活動は可能かと思う。

<意見>

知り合いに声をかけるにも、知恵を集めるにも、人数は多い方がよいと思うが、むしろ、全員くじ引きで決定する形になれば、選考委員は少人数でよく、単年で誰もが活動出来る形にスリム化し、仕事量が少ないコンパクトな会にすれば、本部役員のハードルも下がり、持続可能な組織になるのかもしれない。

<質問>

小学校では、運営委員会の後に、次年度の役員検討を行っていた。

本部が選考委員を兼ねるという形はできないのか。

<回答>

昭和中也も本部で選考活動を行うことを、視野には入れていたが、本部の仕事が増えるため、踏み切っていない。今後、検討し、そのような形になる可能性はある。

(2) 令和7年度予算案について

資料：R7 予算運営委員会用.pdf

本部会計吉田さんより：

P T A会費とは、「年度ごとに集められ、その年度の活動をまかなうもの」として、次年度は、会費を1,000円にする予定で予算案を作成しました。

予算削減の目的は、以下の通り。

- ① 会費そのものを減らすことで、P T A加入者を増やす
- ② 活動費を減らすことで、最低限の活動でよいことを会員に認識してもらう
- ③ 卒対費を減額し、加入・非加入にかかわらず、卒業生全員にわたるようにする
また、P T A会費より多くない金額に収める
- ④ 活動費の半分以上を卒対費が占めている為、卒対費の割合を減らし、全校生徒に関わる活動費の割合を増やす
※現行の会則通り (P T A会費3年間 7,500円) - (卒対費 1,800円) = 活動費 5,700円
R 7 予算案 新3年生の場合 (P T A会費3年間 4,800円) - (卒対費 500円) = 活動費 4,300円
⇒活動費としての徴収額は減る。

R 7 予算案に関して、世帯数は、今年度の会員の割合を参考に、来年度の保護者世帯数+教員数の80%=290世帯で算出している。

P T A会費収入の部「P T A会費」は、290世帯×1,000円=29万円とし、活動のスリム化により、運営費・活動費・諸費は、スリムにできる部分は減らしている。

大きく変わった部分としては、

- ・本部活動費：今年度3万円だったが、来年度は10万円としている。
→理由は、来年度の本部で企画・運営費として活用することと、費目の流用がしやすい。
- ・卒業対策費：卒業生1人あたり500円の予算としている。
- ・周年積立費：100周年に100万円積立が間に合う形で検討し、5万→3万に削減。

予算案に対するご意見・質疑応答：

<質問>

卒対費について物価高を理由に上げていたが、今回、なぜ、2,000 円→500 円にしたのか。

来年度の3年生は、1・2年生の時に会費を多く払っているのに、段階的に削減しないと不公平感が出るのではないかと。

<回答>

以前は、広報の印刷など、各委員会の活動費が多く、卒対費もその中の1つであったが、コロナ禍で各委員会の活動が縮小し、デジタル化が進む中で、卒対費が活動費の約70%を占める形になってしまった。加えて、物価高により、それでも卒対費が足りないというジレンマがあり、卒対費を活動費から切り離し、別徴収するなどの案もあったが、なかなか話が進められなかった。

しかし、今回、PTA活動を縮小するにあたり、会費も大幅に縮小することにした際、卒対費が大きいことを見直す必要があった。

また、入会意思確認を行うこととなり、非加入の世帯もあるが、運営委員会で話し合った結果、加入/非加入関係なく、卒業生には平等に記念品を渡したいという声が多く、会費を払っていない世帯の卒業生にも記念品を渡すには、金額を少なくせざるを得ないという結論に至った。

また、卒業記念品を決めるのは毎年大変なので、スリム化の方向として、お花とするなど、決めてしまうのもよいのではないかと。お花は、あくまで、今年度の本部の提案で、生徒で何か制作する材料費にするのもよし。生徒全員に渡しても不満が出ない金額で実現できれば良いと思う。

段階的に引き下げるのは、次年度の本部に引き継いでいただければ実現できるかもしれないが、今年度の本部から次年度の活動を依頼することはできないため、新本部で検討いただければと思う。

<質問>

新年度役員候補が、今回、運営委員会に参加しているが、会則改正案・予算案に対し意見したことが、反映されないまま、5月の総会を迎えてしまうのか。

<回答>

今回、会則改正案・予算案として提案させていただいているが、新年度役員の方に相談し、次年度の本部役員がやりたいことを反映させて総会に持っていく予定。

<質問>

学年委員は、今年、茶話会を実施するため、予算を上げて頂いたが、次年度の予算は、変更はないのか。

<回答>

スリム化する中で、足りない場合は調整する前提で、今年度、学年委員の予算を試験的に3,000 円に下げた。茶話会に関しては、本部の方針も決定していない段階だったので、運営委員会で承認いただき、予算をプラスさせていただいた。しかし、非会員の方が参加する場合、お菓子はどのような話にもなりかねないので、茶話会という形ではなく懇親会として、お菓子も、なし、もしくは、非会員の方に渡してもよいと思える程度のファミリーパックなどが良いのではないかと考えている。また、予算0 円にしてしまうと、予算がつけられなくなってしまうため、予算としては残したい。

<質問>

本部より質問だが、各委員は、活動費は、使用しなくてはいけないという認識になるか。

<回答>

1・2学年委員会

活動費があるので、どのように使用するか悩み・検討をした。

年度のはじめに、活動費は使用しない活動でもよいという話を聞いておきたかった。

<質問>

会費を下げ、教員同様、昭和中学校の保護者は全員加入という形には戻すことはできないか。

<回答>

会費を下げ、全員加入が理想だが、PTAに対する様々な意見がある昨今、意思確認をせず、会費を徴収することはできないため、意思確認は必要と考えている。

<意見>

広報委員は、予算 1,000 円で、デジタル配信であれば問題ない予算だが、パソコンができない方が手書きで作成しようとした場合、厳しいと思う。

<質問>

今年度の非会員世帯の割合はどのくらいか。来年度、会員世帯の割合が下がる可能性も見越した予算となっているのか。

<回答>

今年度は 317 世帯中、265 世帯：加入・52 世帯：非加入となっている。

生徒が増えても、兄弟の場合、世帯数は増えないので、来年度の世帯数は把握できていないが、割合としては今年度同様に 80%程度と考え、また、秋に入会の意思確認は取らせていただいているので、その予測は反映させ、290 世帯で予算案を作成している。

4. その他

本部金井会長より：

今年度の運営委員会は今回が最後となり、次回お集まりいただくのは、総会になります。

PTA総会：令和7年5月10日（土）14時～ 体育館

総会后、次年度各委員・担当への引継ぎをお願いします。

具体的な内容が決定していないので、総会までは今年度本部の担当と連絡がつくようにお願いします。

5. 先生より

副校長 原島先生より：

年度末のお忙しい中ありがとうございます。

本日、総合学習発表会に来ていただいた方も沢山いらっしゃったかと思います。10年以上前にも、総合学習発表会という形で実施していた時期があり、その時は、オーストラリアのパースに行ってきた生徒の報告会や、各学年での発表があり、思い出しました。

運営委員会中、工事により雑音がありましたが、授業中もこのような状況でした。

ですが、やっと落ち着いてきていて、もうすぐ工事が終わる予定です。

制服リユース担当は、今年度は、工事の関係で動きが取れず、申し訳ございませんでした。

卒業間際・1・2年生は進級に向けた年度末ですが、生徒も教員も体調不良が多くなってきましたので、ご家庭でもご自愛いただけたらと思います。

今年度は、お世話になり、ありがとうございました。

校長 渡部先生より：

今年度、役員・委員を務めてくださった皆様、本当にありがとうございました。まだ少しありますが、よろしくお願いいたします。

また、次年度役員候補の方も、本日は運営委員会にご参加いただき、ありがとうございました。次年度、よろしくお願いいたします。

P T Aの方々には、運営に関する課題や悩み等、様々な話を聞かせていただきました。会員の方も、非会員の方も、それぞれの考えをお持ちで、全国的に考え方が多様化しており、P T Aの存続の問題に直面している学校が多い状況です。そのような中で、「やれることをやれる範囲で」という形で、今年は、何がやれるのか、今年の課題は何なのか、悩みを抱えながらやっていくという、難しい活動だったと感じています。学校としては、卒対費削減のため、卒業記念品を総合の時間を利用して、生徒自ら制作するなどの協力も可能ですので、「やれることをやれる範囲で」の中で、ご相談を持ってきていただければ、一緒に考えさせていただこうと思っています。

最後になりましたが、本日、総合学習発表会で使用させていただいたスクリーンですが、「なんて素晴らしいのだろう。スクリーンが無かったら、今日の発表の形はできなかった。」と思いながら見ていました。本当にありがたく思っております。ありがとうございました。

～ 各委員会へのお願い事項 ～

《お願い》

- ・学校施設（P T A会議室を含む）を利用する場合は、事前に副校長先生に申し出て下さい。
 - ・P T A会議室の鍵については、平日は職員室で職員から、土日は1階の主事室で、施設管理員から受け取ってください。
 - ・各委員会から発行するお便りは、上部に、
「P T A会員/非会員問わず配布させていただいております。ご了承ください」と入れてください。
 - ・各委員会から発行するお便りは、副校長先生に確認をお願いします。
副校長先生ご確認時、修正もありますので、PDFではなく、Excel・Wordで送付をお願いします。
副校長先生確認後、学校の方で、ピンク色の用紙に印刷していただきます。
- ※封筒を使用の場合、P T A会議室の棚の中に用意していますので、お使いください。
- ・未確定の内容や話し合いの途中になっている事は、委員ではない方に話すのを極力控えてください。
 - ・誤解を受けるような言動は避けてください。

皆さま、お忙しい中1年間ご協力ありがとうございました。